



### 夏季祭礼 催事中止

先月廿日をもって、緊急事態宣言は解除となりましたが、本年五月にご案内しておりました通り、左記祭礼につきましては、神職による神事のみとし、一般のご参列はご遠慮頂く形とさせて頂きます。

- ・七月六日〜七日 七夕祭(御旅社)
- ・七月十五日 例祭(御本社)
- ・七月廿四日 遣梅式(御旅社)

蔓延防止等重点措置が今月十一日までとなっていますが、今後の感染状況の見極めが難しい事から、一律での催事中止とさせて頂きました。何卒ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

### 東京五輪

当社報を執筆致しております六月下旬現在では、七月二十三日から、東京に於いて第三十二回オリンピック競技大会(東京五輪)、来月二十四日からは東京二〇二〇パラリンピック競技大会が開催される予定です。本来であれば昨年七月二十四日に開催予定でありましたが、ご承知の通り、コロナ禍の為、まるまる一年延期となりました。現在の段階で二〇六の国と地域、三三九種目の競技に約一万二千人の選手が参加される見込みです。しかしながら、コロナ禍の見通しが難しく、一ヶ月前の段階でもどのように移行するか分からない状況となっています。

神山町の当宮御本社の境内には、昭和三十九年(一九六四)の前の東京五輪の際に記念にと奉納された国旗掲揚塔の土台が残っています。戦後復興の象徴と位置づけられた前回の五輪の熱意が伝わるような大きな土台です。

今回は東日本大震災からの復興五輪との位置づけから、コロナ禍に打ち勝った証という位置づけに変容し、更に五輪後のコロナ禍の再拡大が懸念されるなど、熱意よりも不安を覚える方が多い状況ですが、参加される選手の方々、運営に携わるの方々には今できる精一杯を尽くしての五輪を願うばかりです。

そして再拡大を防ぐ意味からも、期間中は出来れば家族など内々で観戦し、日本から世界にコロナ禍の正しい過ごし方を伝えたいものです。

### 梅田の水路「井路(いじ)」の話

江戸時代、今の新御堂筋から西側の地域は田畑が広がり、その灌漑の為の井路(いじ)と呼ばれる水路があちこちにありました。

この井路は江戸時代までのものと考えられていましたが、近年の調査で昭和初期頃までは各所に残っていた事が判明し、特に芝田二丁目付近の道路は概ね井路の跡である事がわかってきました。水質はあまり良くはなかったようですが、七月になると子供らが水遊びに興じる姿がよく見られ、夏の風物詩でもあったようです。この井路について今後も調査を続けて参りたいと思います。

### 御朱印について

先月廿日をもって緊急事態宣言が解除され、蔓延防止等重点措置に移行しましたが、前回の解除後の再拡大の反省を踏まえ、しばらくは御朱印帳への直書きは引き続き中止し、書き渡し(書いたものをお渡しする)の形を継続させて頂きます。誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

### 今月の暦

【祭礼】 七夕祭(六〜七日)：御旅社 本年は神事のみ  
例祭(十五日)：御本社 当宮で最も大切な祭 神事のみ  
遣梅式(廿四日)：御旅社 神事のみ

### 【節気】

小暑(七日)：…梅雨明け頃。セミが鳴き始める  
大暑(廿二日)：暑さ厳しき頃。暑中見舞いの時期  
半夏生(二日)：田植え納め。縁起の良い夕コを食す  
夏の土用(十九日〜八月六日)：土掘りは縁起悪い時期  
土用の丑(廿八日)：滋養の為にウナギ等を食すと云う  
山開き海開き(七月上旬)：安全を考慮しての時期  
七月四日、十五日、廿一日、廿七日

### 【大安】

海の日(廿二日)、スポーツの日(廿三日)

### 【朔望】

下弦(二日)、朔月(十日)、上弦(十七日)、満月(廿四日)

### 【旬】

【野菜】 枝豆、インゲン豆、キュウリ、ピーマン、生姜  
【果物】 スイカ、パイナップル、メロン、瓜  
【魚介類】 アナゴ、アユ、ウナギ(養殖)、ハモ、ウニ、タコ  
【その他】 七夕の素麺、白蒸し(まつり飯)、百合の花が見頃

### 網敷天神社SNS、地図サイト

